



郡上長良川ロータリークラブ

ホルガー・クナーCR1会長

クラブテーマ **結** (ゆい)

会長：畑中知昭 副会長：山下 誠 幹事：松森正和

第2011回 令和2年10月28日(水)

本日の行事 会員卓話 (クラブ管理運営)

2020-21年度

畑中知昭会長

* 四日市南RCより

幹事報告

松森正和幹事

創立30周年記念誌 拝受

* ガバナー事務所より

* 例会変更 美濃、可児RC

公共イメージ向上マスク完売のお礼

* 週報拝受 美濃加茂RC

第2010回例会

会長挨拶

2020-21年度 畑中知昭会長

本日、あゆパークの後藤支配人さん、よろしく願い致します。今日の段取りをいただいた麦島君ありがとうございます。

今日はアユパークという事で僕が知っている知識をお話します。ここは岐阜県の施設で、県の事業で言うところは内水面振興事業で、海がないという事で振興事業という事で行っており、課で言うところ里川振興課と言って他の県にはないです。事業所で言うと、美濃市と関市に漁業センターがあり、その2か所で鮎の飼育と鮎の研究を行っております。今シーズンは鮎が出ていき、親鮎は産卵させて、今秋から稚魚が産まれてきて孵化させていて、出荷をして長良川に放流しています。ここは教育と振興事業を進めるところです。この後に鮎パークの説明をお願いしたいと思います。

今日、志摩RCから4名見えて、芦原へ行く途中で白鳥に寄りたいたいという事でした。午前中に覇楼館でコーヒーを飲んだ後に山下さんの別荘で、里恵子さん、佐藤さん、山口さんの3人にお茶をたてていただき、その後帰っていかれました。その時にお土産をいただいており、イセエビを大小7匹ほど頂きましたので皆さんには申し訳なかったのですが、お手伝いいただいた7人で覇楼館で調理していただいて美味しくいただきましたので報告致します。

外来卓話 あゆパーク体験について

山下誠君

皆さん今晚は。洋介君が大変頑張っておられて、この設備は野島県議や皆さんのお力添えをいただいて県が建てられたものですが、長良川の白鳥の地にあゆパークを作っていただき、地元民は大変喜んでます。洋介君と他の若いメンバーが本当にお骨折りしてくれているお陰で沢山の来場者が見えているようです。今日は高鷲例会ではありますが、洋介君が担当ですのでこの場所にしました。あゆパークは若い人達が頑張っていますが、地元の私たちが活用し、若い人達を応援していきたいと思っております。今日はたくさんの人にお越しいただきありがとうございました。

麦島洋介君

本日は高鷲例会という事でお越しいただきましてありがとうございます。この施設は本社 阿弥陀ヶ滝観光で、体験の支配人という事で高鷲から来ていただいている後藤君です。

本社の概要を説明したいと思います。平成27年12月に世界農業遺産として岐阜県が認定されました。それを受けまして平成30年6月2日に清流長良川あゆパークが整備されました。その中で県営施設という事で郡上では初めての施設です。大きく分けて8つのカテゴリーに分かれて体験にできる施設になっています。内水面漁業の担い手の育成の拠点としての施設となっています。またもう一つ大きな目的として清流長良川の鮎の情報発信拠点、その2つを担っていく施設となっています。

取り組みとして大人気となっている鮎のつかみ取り体験やアユの友釣り等、手ぶらで来て体験できます。

大きな目的の2つ目は清流長良川の鮎の紹介として、園内を見てもらうと至る所にクイズを出して、楽しみながら世界遺産を学んでいただいています。またシアターでも紹介していますのでの後ほど見ていただきます。

長良川流域では86万人の方が生活しており、水がきれい板持たれていることが世界遺産に認定された要因です。7月の第4日曜日はGIAHS「鮎の日」と定めて毎年イベントを実施しております。その際に研修で訪れている海外の関係者と地元高校生の交流も同時に行っております。アンケートで来場者の分布をみると名古屋や尾張からの方が突出して来場されています。地元郡上市、岐阜市からも見えていますが、まだまだあゆパークの人気を見てみると長良川沿いでは認知度は高いですが、他はまだ低いです。来場者の状況ですが、平成30年6月2日にオープンしましたが、8月2日に5万人を達成し、8月26日には夏休みという事もあり10万人を達成しました。翌年8月には30万人を達成しました。今年はコロナの関係もありますが、来年の春には50万人達成記念式典を行える予定です。

あゆパーク体験支配人 後藤克仁様

皆様、よろしくお願ひ致します。シアターはいかがでしたか。シアターは子供たちに分かりやすいように作られています。説明するときには水の妖精に長良川を案内してもらいましょうという所からスタートして興味をもたせています。施設の役割を説明します。県務施設という事もあり、3つの役割がございます。学習機能、体験機能、情報発信機能です。学習機能は、岐阜県内の小中学校の方達により多く利用してもらおうと言う所で、岐阜県の方から使用数として年35回以上1800人以上の実施が一つの目安とされています。初年度の実質は計66回、体験人数は1400人の利用がありました。昨年度は2年目という事もあり、実績は93回、当初の1800人の要請を多く上回り、2300人の利用がありました。今年はコロナの影響もあり9月の段階で600人です。学校さんの方が5~7月まで野外学習ができない状況でした。その中で9月になってから少し動き始めて600人になりましたが、この秋にさらに学校さんが野外学習の需要が高まっておりますして利用数が伸びております。現在予約数をいただいております、最終着地が2200名のところまで予約数としては来ております。この春の状況から比べますと、学校様にもこの施設の利用はかなり期待を持ってきていただいているのかなと感じております。



県外の方たちや旅行会社のツアーの方たちを一般団体と呼んでおりますが、初年度は営業活動をしておりませんので利用はありませんでしたが、昨年度は名古屋での旅行会社の相談会にも積極的にいかせていただき、旅行会社のツアー等で38回の利用がありました。その中でもあゆパークを漁業体験という名目を作っていただいたり、林業体験等を利用していただきました。あとは道の駅と隣接しておりますのでバスの立ち寄りとして利用していただきました。あゆパークを回っていただき、アユの塩焼きを食べていただきました。一般個人としては主に春と秋は週末の土日の営業と、夏休みは連日の営業で、漁業体験をしていただいております。主に鮎のつかみ取り体験や釣り堀体験になります。初年度は14000人の利用数で、昨年度は23000人で、今年は9月末で17000人が体験されていますが、夏の利用としては昨年並みの利用をしていただいております。この状況下の中で県内県外からの利用をしていただいております。秋に向かって昨年並みにお客様に来ていただいております。

どんな体験をしているのかご紹介いたします。世界農業遺産の情報発信拠点として、資料をもちいながら講座等させていただいております。林業体験でも山の仕組みや働きなどの講座を行っています。園内に6か所クイズを出しながら、より知識を深めていただいております。

林業体験は野外活動として木を切ったり、シイタケの菌を植えたり、延年の森公園で植林も行っています。

長良川を使った川遊び体験や生態調査です。今の子供たちは川で遊ぶところが少なくなってきました。危険が伴ってきますので我々がサポートをして、川遊び体験では大きなボートに乗ったり、生態調査では網を持ったりとか、自分たちで川の中をのぞいてどんな魚がいるか網ですくったりします。昔は当たり前の事が今は中々子供たちはやり方がわからないという子が多いので、長良川を使った体験に大変好評をいただいております。

クラフト体験では名古屋のカラー魚拓協会から講師を呼んで、実際に鮎で魚拓をしたりします。

ネームプレート作りでは郡上の間伐材を利用しながら作っています。

食体験では飯ごうを使って鮎ご飯を作ったりします。子どもたちは鮎の香りと旨味と、飯ごうで作るご飯という事で大変人気があります。またケイちゃんなども選択いただきながら焼いて食べるので間違いなく美味しいと思います。

新企画の体験を色々作らせていただいております。生体調査の中に水中ドローンを使って、実際に子供たちに捜査させて水中を見てもらっています。水中ドローンのカメラの性能が良く、どんな魚がいるとか、鮎などもリアルにみることができます。投網体験としては長良川を使って、水中の中でどうやって鮎が取れるか、箱眼鏡やシュノーケルを使ってのぞいてもらいます。漁業組合の方に講師に来ていただいて、体験してもらっています。投網を生で見ることはありませんので、子どもたちも興味があり、実践もしながら行きます。低学年の子供には重たいですが、実際にとれると子供たちは大興奮です。

鮎のつかみ取りも大人気ですが、秋口は寒くなるので鮎すくいを企画しました

イベントなども各種企画しております。周年記念イベントとして6月第1週の日曜日に記念イベントを企画し、鮎1000匹つかみ取りを企画して先着500組で行ったところ、30分で整理券がなくなりました。そのほか稚魚の放流など記念イベントを行いました。GIAHS「鮎の日」では県の方からの要請で協力しながら大規模なイベントを行います。

季節イベントとして四季にわたってイベントを行っています。スケジュールをもちいながら夏は鮎の日を起点に各種イベントを行っています。お魚タッチプールにはうなぎやドジョウなどを触ったり、鮎の塩焼きから田楽、雑炊などの無料振る舞いをしています。また郡上北高校や白鳥中の吹奏楽の演奏を行ってもらったりしています。

鮎マスターとして、昨年 鮎塾を企画しました。アユ釣りの名人を講師に5月から10月までの間で共釣りのノウハウを伝授してもらい、昨年は5名の方が鮎マスターに認定されました。

出張イベントでは横浜の方に世界農業遺産PRイベントとして、岐阜県から我々参加させていただきました。全国から9都市の世界農業遺産の関係者が参加されて、各PRをしました。我々はあゆパークの体験を持っていき、各種PRをして来ました。笠松競馬場では鮎のつかみ取り体験をしていただきました。捕まえた鮎はその場で塩焼きにして食べていただきました。

各種協力もさせていただいています。八幡で毎年行われている中高校生の共釣り選手権にも協力させていただいています。

また各種資格も取っています。プレイヤーズ登録や流域の担い手認定等の認定証をいただき、清流長良川の鮎の情報を発信をしていく形で講習を受けながら知識を広げています。以上、各種あゆパーク体験について説明をさせていただきました。ありがとうございました。

麦島洋介君

良いことばかりではなくて、まだまだ課題もたくさんあります。今後に向けての取り組みですが、当初の見込みよりも来場者が多く、いくつか問題も出てきております。

一つは夏場には渋滞が起こっています。駐車場の問題や、園内に日陰が少ないために、熱中症が起こる恐れがあるので、そのケアが必要です。

パークがオープンしまして、大きな目的の裏に秘められているものが、白鳥町 特に北部地域の振興をあゆパークを中心にしていく大命題があります。取り組みとして近隣の施設に誘導できないかとか、共通チケットを用いたりして取り組みをしているところです。まだまだ周辺の施設をより有効に活用できる博物館しかり、阿弥陀が滝しかり、石徹白などへのアプローチが今後まだまだやっていかなければならない課題です。団体のお客様が増えてきていることにあわせて、天候に左右される体験内容が多いので、いかにコントロールするかという所で、周りに公共施設がありますので連携していきたいと思えます。また40名規模団体を想定していたので、市外の学校からの問い合わせが多数あり、1学年100~200人規模の学校様からの問い合わせがありますので、受け入れに対する構築をしていかなくてはと思います。

今年、長良川としては初めてですが、特別漁場開設の許可をいただくことができました。それをうけまして今年の3月からあゆパークの本流を使いましてアマゴ釣りを新たなプログラムにしていく予定になっています。

またSDGsを意識した施設になっております。体験に関してもSDGsに乗った体験プログラムになっております。今話題になっていますサステナブルツアーというものをしていますが、



先週も日本平さんのツアーの受け入れだったり、海外だったりのツアーも構築しております。そういった取り組みをすることによって、あゆパークがもっと盛り上がるようにして行きたいと思っております。以上であゆパークの説明を終わりたいと思っております。ありがとうございました。

ニコBOX

ニコBOX委員会 川島伸弘君

畑中君 あゆパーク後藤支配人、本日はありがとうございます。

麦島君 ようこそ鮎パークへ、世界農業遺産の世界はいかがでしたか。秋イベント開催中です。是非皆様のお越しお待ちしております。

寺田澄男君 高鷲担当例会、麦島君、山下君、お疲れ様です。ご音様、卓話楽しみです。よろしくお願ひします。

松森君 後藤様、本日は卓話ありがとうございました。新しい施設で気持ちがいいですね。息子も先日お世話になりました。

山下君 本日、志摩ロータリークラブの皆さん、ようこそお越しくださり、楽しいひと時をありがとうございました。また、今晚は高鷲例会、多くの出席いただきありがとうございます。例会の段取りを麦島君、ありがとう。あゆパーク支配人後藤様、よろしくお願ひ致します。

美谷添里恵子君 志摩ロータリー接待の皆様、今日は楽しいひと時をありがとうございました。

佐藤君 三日月がきれいです。

藤代君 今日、志摩RCのメンバーを迎えていただいた皆様、ご苦労様でした。山下君、ご苦労様でした。石徹白君 先日はありがとう、珍しい神事を観させていただきました。

川島君 インフルエンザに気を付けましょう。後藤支配人ありがとうございます。

山口君 あゆパーク支配人 後藤様ようこそロータリーへ。体験は大切です。卓話宜しくお願ひします。

同文 大村君、尾村君、三島勲君、和田良一君、羽土君、小島君、石徹白君、寺田正実君、原君、旭君、井俣君、清水君

次回例会予定

10月30日 IDM

11月11日 加賀中央RCへの交換卓話

11月4日 クラブフォーラム

11月11日 郡上八幡RCとの合同例会

出席報告

出席委員会 島崎秀樹君

| | 会員数 | 出席者数 | 欠席者数 | 補正者数 | 出席率 | 出席免除 |
|--------|-----|------|------|------|--------|------|
| 第2009回 | 32名 | 32名 | | | 100% | 1名 |
| 第2010回 | 32名 | 24名 | 7名 | | 77.42% | 1名 |

例会日：毎週水曜日 午後6時30分（6～9月 午後7時～）

例会場及び事務所：白鳥町農業指導研修センター 岐阜県郡上市白鳥町白鳥47番地12

TEL. 0575-82-3822 FAX. 0575-82-5191

URL<http://www.guonagaragawa-rc.com/> E-mail gsrc@abelia.ocn.ne.jp

発行 クラブ会報委員会